



偽りのカツコウ

予備役製作所

モノクロ漫画
116p



登場人物



峯原 真一

郷田の命令には忠実に従う秘書。
郷田の命により繭子と会いホテルに誘う。



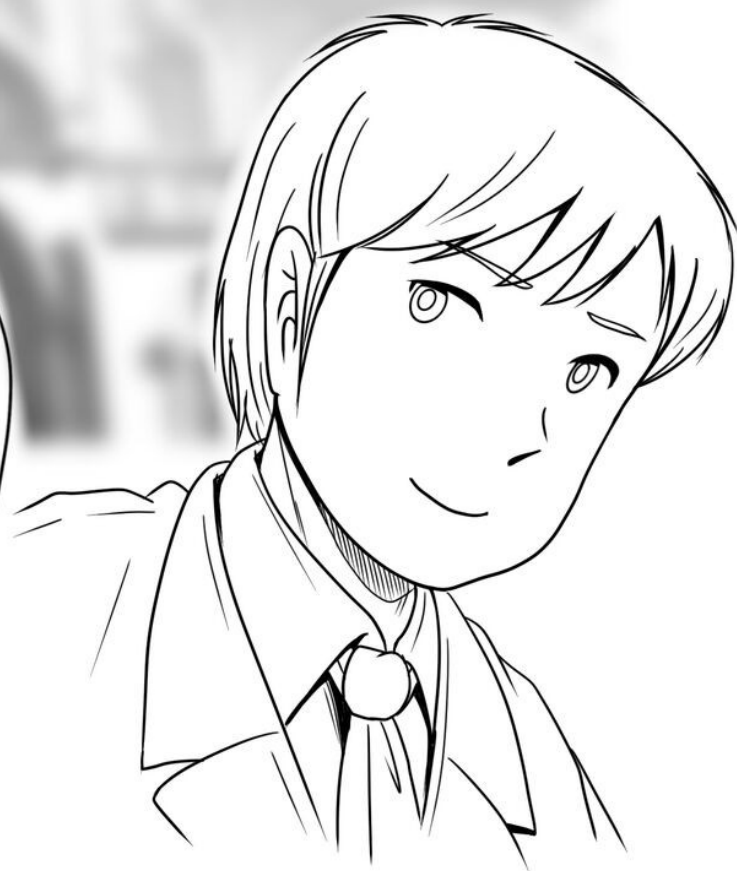
郷田 剛

繭子の父。
繭子に結婚時の約束を守る事を要求する。



柏木 繭子

主婦。
柏木信人と結婚して3年になる。
結婚の条件として父剛からとんでもない約束をさせられる。



柏木 信人

郷田の会社に勤める。
義父との約束を果たそうと日々頑張る。

だから
お父さん！

私も信人さんも
頑張って
いるんですから！

期限の事は
わかってます！

もちろん
約束の事も！

ともかく
来月まで待って
下さい！

はい、
はい、

では…

フゥッ

繭子さん、
お義父さん？
また例の催促？



ほんと
やんなっちゃう！



そうよ！
まったく！

あんな時代遅れの
約束をいつまでも！

でも
繭子さん…

結婚の条件だったのは
間違いないし…



信人さんは
私と別れる事になっても
いいんですか！

冗談じゃないよ！

繭子さんと
別れるなんて！



私は柏木繭子。二三才の主婦です。旦那様は信人さん。
私たちは三年前に結婚しました。
私は、高校卒業後すぐに父の経営する会社に事務員として
就職しました。そこで信人さんと知り合い恋人関係になりました。



私が二十歳を迎えるのを機に信人さんは私にプロポーズして
くださり私は喜んで受け入れました

私の家、郷田家は私たちの地方都市では
かなりの資産家であり私の父、郷田剛は
幾つかの会社を経営する事業家でもあります。

そんな父は、私達の結婚には大反対。
信人さんは豪傑な父とは正反対な事が
気に入らない様子でした。



私達は必死で父を説得しました。

そして、どうにか結婚の了承を得たのですが、父はとんでもない条件を出してきたのです。



二年以内に男の子を授かる事、もしだめなら即刻離縁

この現代でこんな古臭い事を言い出す父はとんでもないとは思いました。

でもともかく結婚したかった私達は父の条件を受け入れてしまったのです。

最初は、二年もすれば大丈夫だろうとタカをくくっていました。もしダメでもさすがに父も諦めるだろうと。

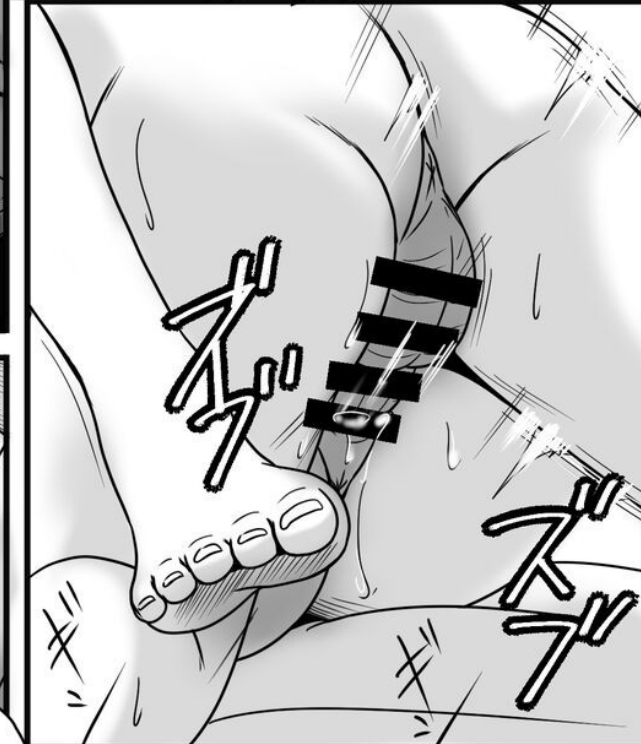
でも、二年どころかもう三年もたっているのです。



あんな約束しなきゃ良かったな……







繭子さん
愛してる！

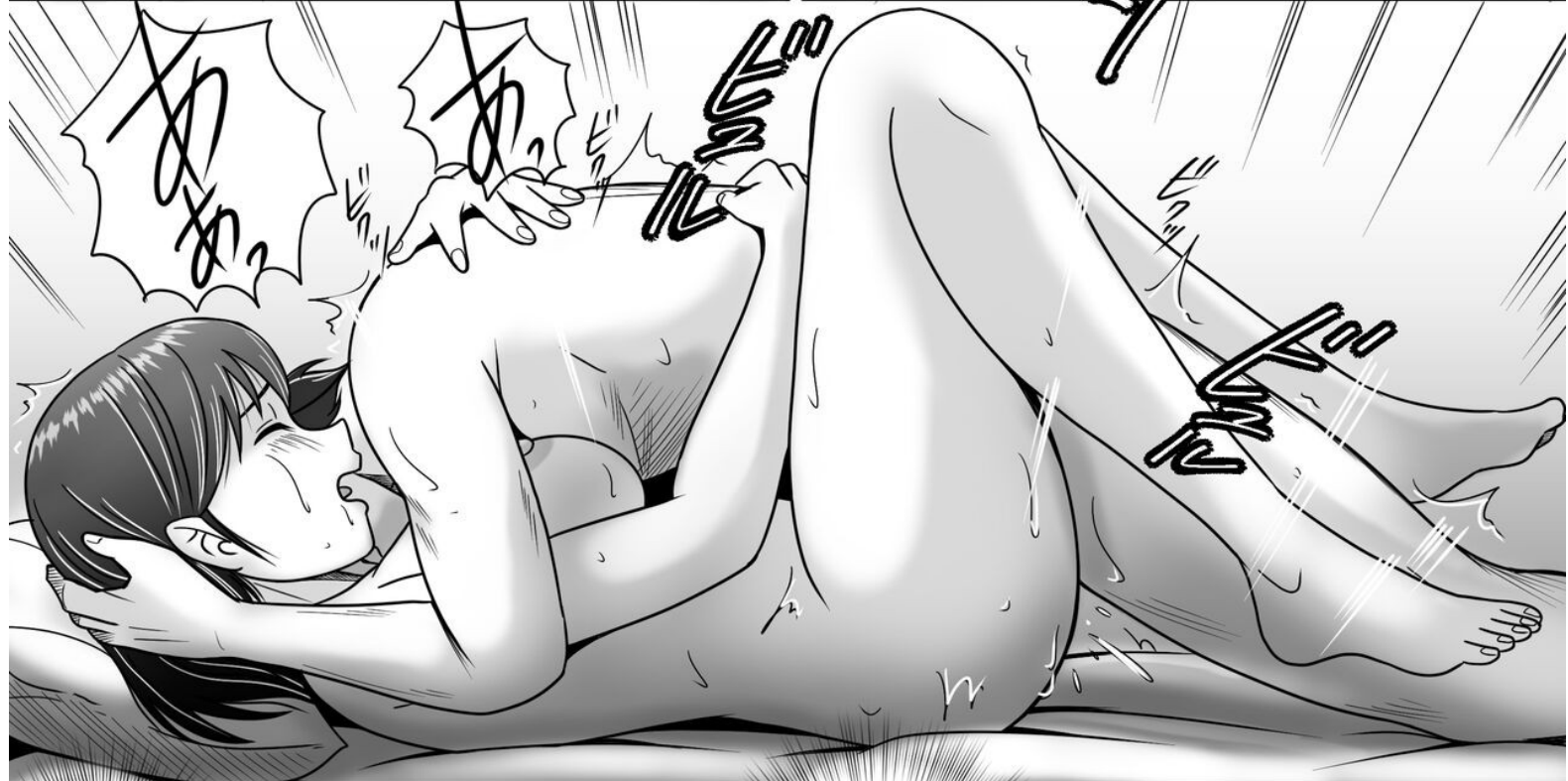
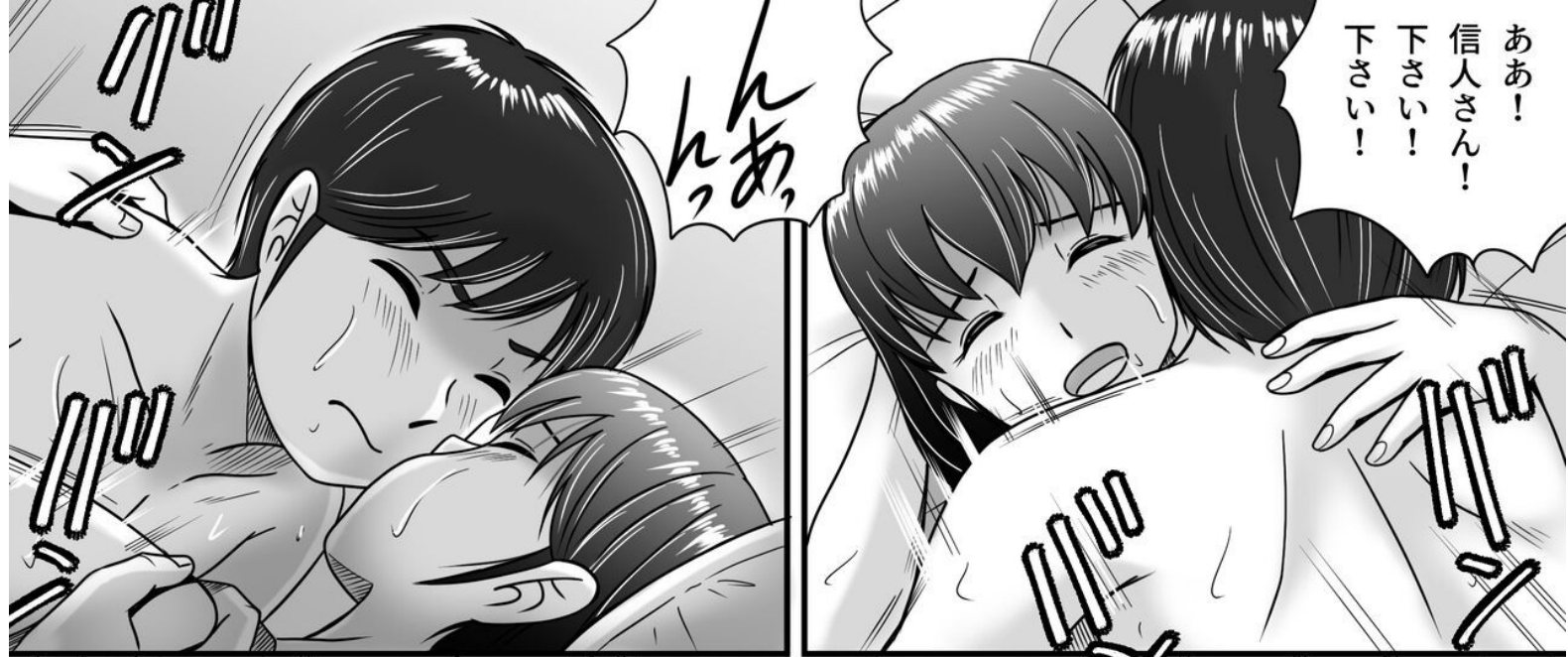
信人さん
私も
愛してる！

んぐ



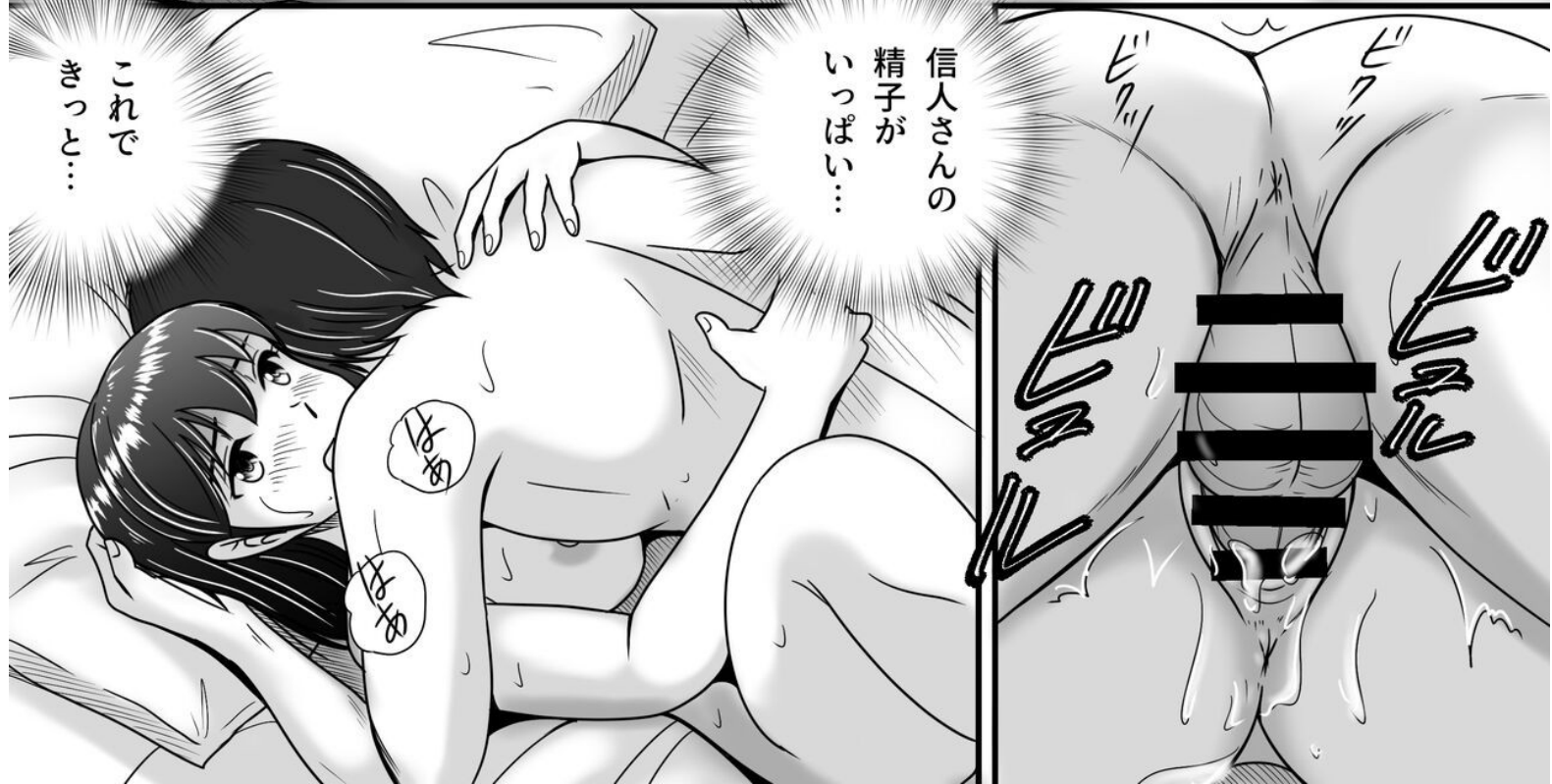
ああ！
信人さん！
下さい！
下さい！

んあ、



信人さんの
精子が
いっぱい…

これで
きつと…





繭子さん、
これでできると
良いね。

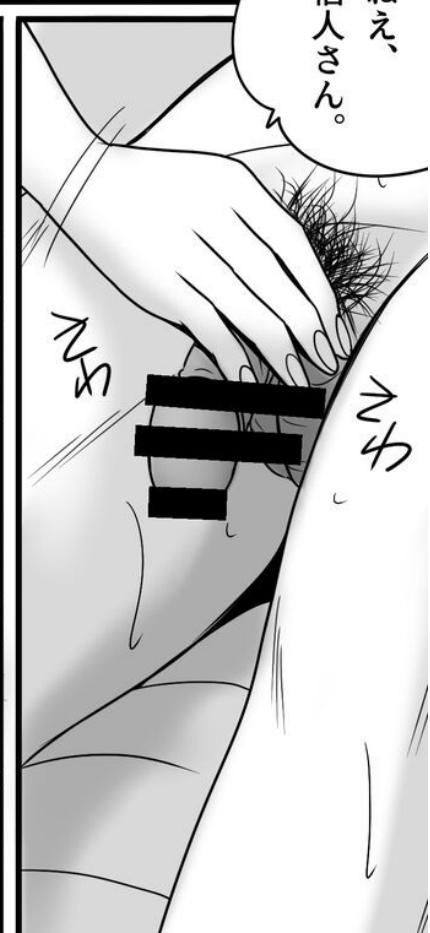


信人さん、
きっと大丈夫です。



念の為に
もう一回…

繭子さん…



ねえ、
信人さん。

数日後...

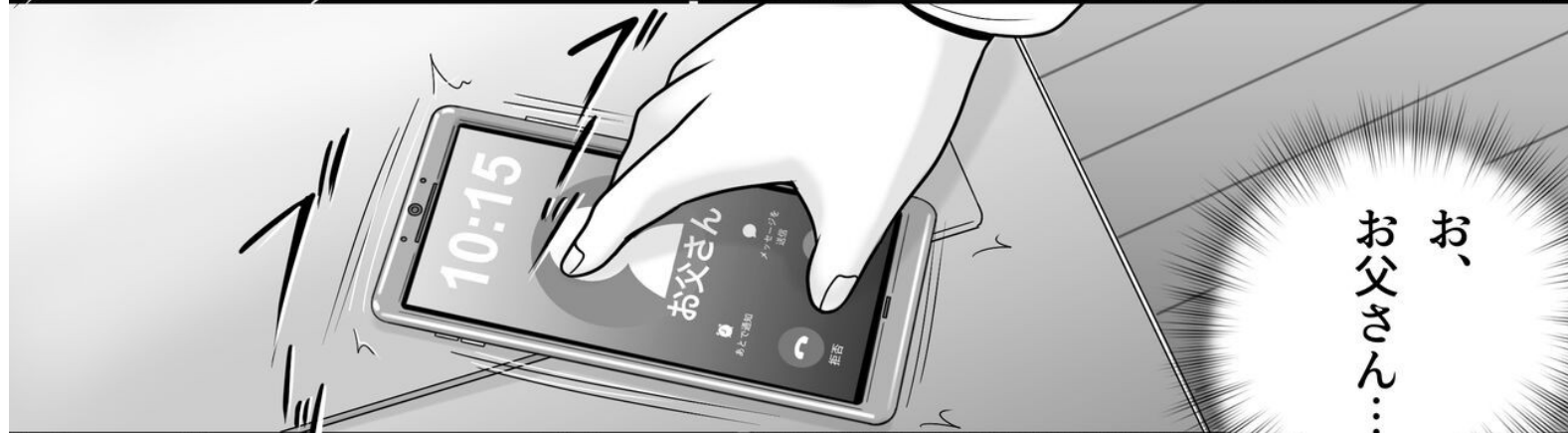
やっぱり...

...

やっぱり、
また
ダメだった...

こんなに
頑張っているのに
どうして...

カッ
カッ
カッ



結局今回も
ダメだったんだな！

お父さん！
待ってください！



約束の期間は
とっくに過ぎておる！
わしの我慢も
限界だ！

例の約束を
守ってもらうぞ！



結婚のための父との
秘密の約束…

それは…

もし子供ができず

信人さんと離縁したくない場合は、

他の男の人に子種をもらってでも男の子を身籠る…

と言う

とんでもない
ものでした。

後継が欲しいなら

一度、信人さんをお願いして

それからでも、と説得しましたが

血の繋がらない人間に任せられないの一点張りでした。



結局このとんでもない条件を
私は受け入れてしまいました。

無論、この事は信人さん
には話してません。

話せるはずもありません。

信人さんとの生活を守りたい、
何よりも父の会社で働く信人さんを守りたい、
その一心で。

案ずる事はない。

あの男と雰囲気似ており
血液型も同じ男を選んでおいた。

すぐに連絡させるから
その男と
会って話をするのだ。

良いか

繭子。

家の為にしっかり
孕むのだぞ！

では、

良い知らせを
待っております！！

信人さん…

私、
頑張るから…

しかし
繭子さんも
大変ですね。

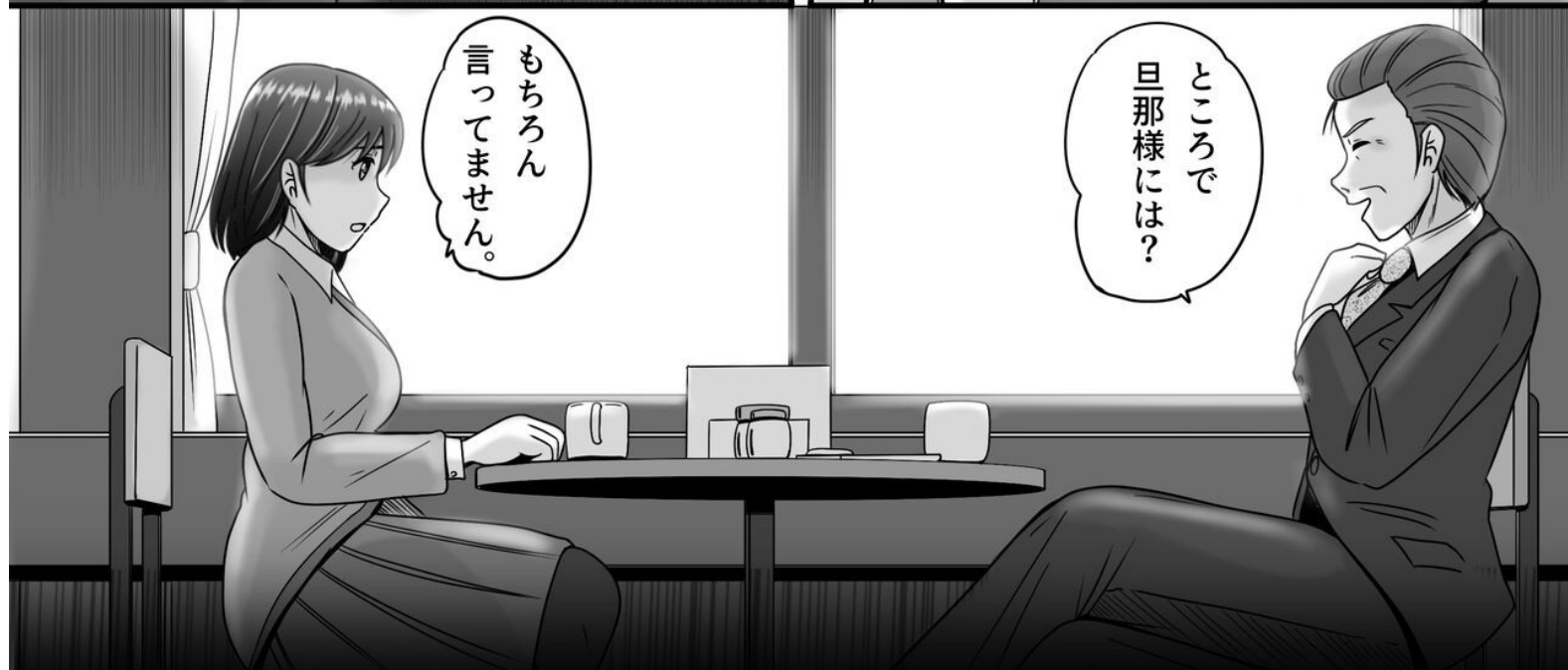
社長も
随分と
古い考えを
お持ちで。

私は
社長には若い頃から
ずっとお世話になっていまして、

ぜひ
協力させて
頂きたいのです。

社長のお力になれるのであれば

なので
今回のことも
仕事の様な
ものです。



そうですか。
その方が
良いですね。

思った人と
随分違った…

優しいそうでは
あるけれど…

結構
おじさんなんだ。

峯原真一さん…

私…
この人と…

繭子さん

どうかお気持ちを
楽にしてください。

こういう事は
その方が
上手くいえます。

…

それでは
そろそろ
参りましょうか？

どちらに？

え？

ホテルに
決まっているじゃ
ないですか。

いやだなあ
繭子さん、

今から
ですか…

い、

善は急げですよ。

HOTEL
Cuckoo's Nest



来てしまった…



セックス
するんだ…



私、
これから
峯原さんと

いやあ
ここの風呂は
随分と立派ですね。

後で
一緒に
どうですか？

き、今日は、

そういうのは…

あーいやいや

冗談ですよ！

お願い
できますかな。

それでは
早速…

7/11/11

若い頃なら
女性とこんな所に
来るだけで
元氣になった
ものですが、

最近はめっきりダメで
ちよつと
準備に手間がかかります。

お嫌でしたら
自分で
何とかしますが…

男の人って
こんなに違うんだ…

ちよ
ちよ

!

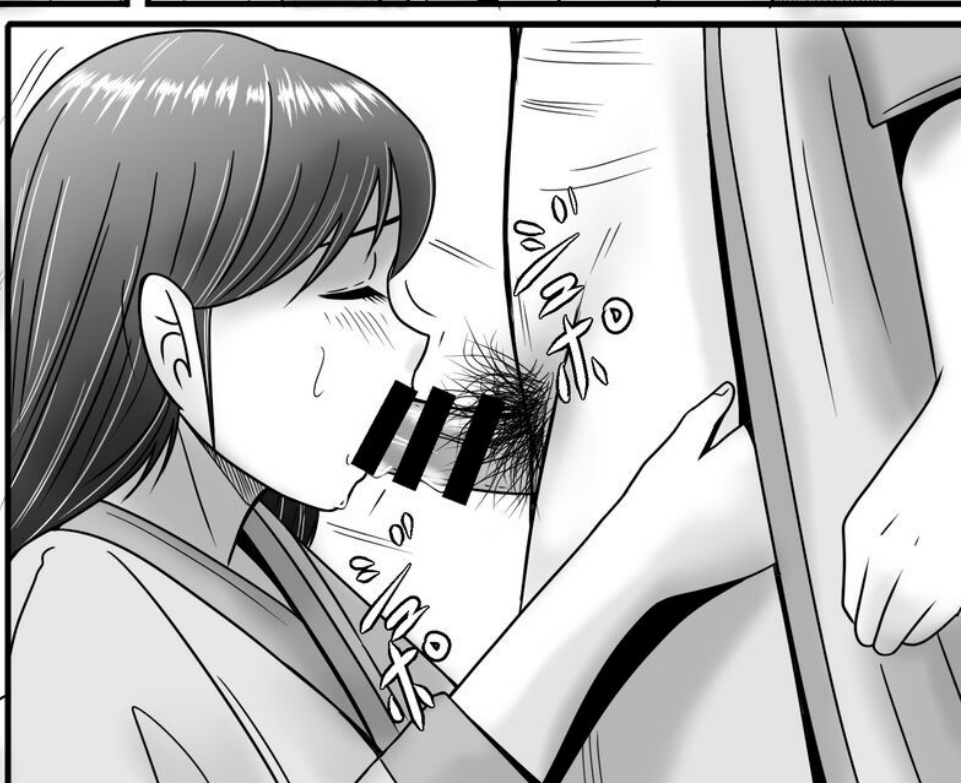
だ、
大丈夫です…
私が…



ああ、
良いですよ。

口の方でも
お願いします。

こんなん
どうでしょうか？







このままだと
お口に
出してしまうす。

それでは
意味がありません。

でも
おかげさまで

随分と
元気になりましたよ。

それでは
繭子さん、

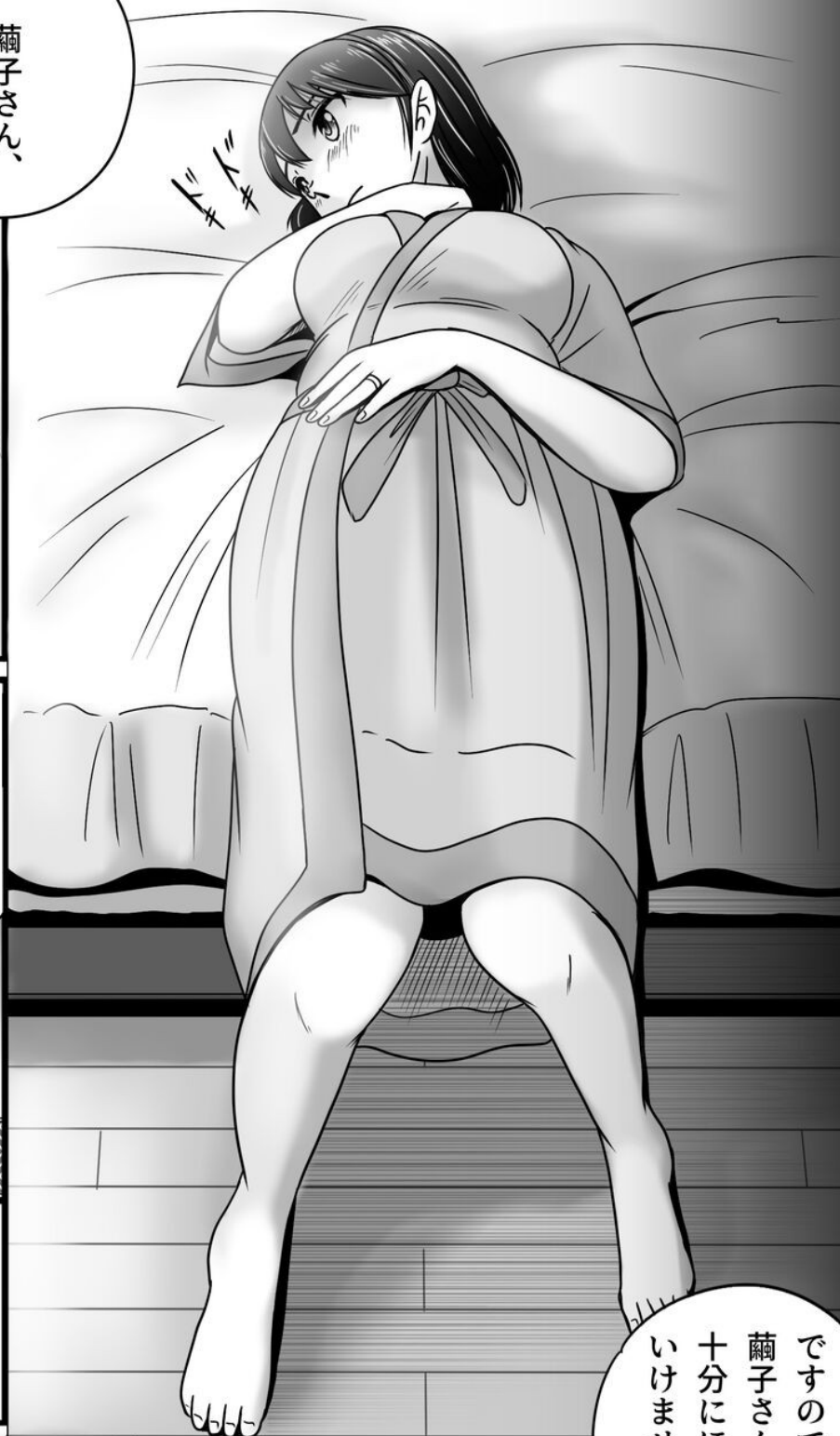
次は
あなたの
準備をしましょう。

わ、私の
ですか…



繭子さん、

先ほど
ご覧になった通り
私のは、



ですので
繭子さんのものも
十分にほぐさないと
いけません。



他の方より
大きいのです。



まずは
拝見します。



挿入時に
痛みがあると
よろしく
ありませんから。

あ、あの…
峯原さん



やっぱり、
ちよっと…



繭子さん、
手をどかして
いただけませんか？



これでは
ほぐせません。

どうか
私に
おまかせ下さい。



繭子さんも
きつと
満足しますよ。





思った通り
花芯の方も
綺麗な
ピンク色だ。

今日初めて会った
男の人に
見られちゃってる…

奥の方から
甘そうな蜜が
溢れてきますよ。

恥ずかしい！

あたかも早く
舐めて
欲しそうですね。

あんまり
見ないで
下さい…



それでは
蜜の
味見を...



繭子さん、
良い反応
ですね。

存分に
気持ちよく
なって下さい。

ああ！
峯原さん！

なんか
来そう！

まだ
入れられても
いないのに！

私 私！



ひよっとして
私、いった？
舐められた
だけなのに…

まあこれで
十分ほぐれた
ようですね。

繭子さんは
随分と敏感
なのですね。

おやおや
いって
しまいましたか？

準備は
万端ですね。



私は、
こっちの方も
自信があります。



最初は
ゆっくり
入れていきます。

繭子さん、

期待なさって
良いと
思いますよ。

ああ、
入れられちゃう！



どうか
力を抜いて
ください。





いやあ
繭子さん、
なかなか狭い
ですね。

もうちょっと
ですよ。

もうじき
全部
入ります。

んん

んん

あっ！

んん！
あ！

ほら、
ようやく
奥まで到達しましたよ。

なにこれ！
お腹が
苦しい！

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ん
ん

あ
あ
あ

繭子さん、

どうやら
少し
苦しい様ですね。

その間に
失礼して…

無理も
ありません。

しばらく
動かずに
馴染ませましょう。

お胸を
拝見。

ほほう！

思った通り
綺麗な
お胸だ。

ふうん。

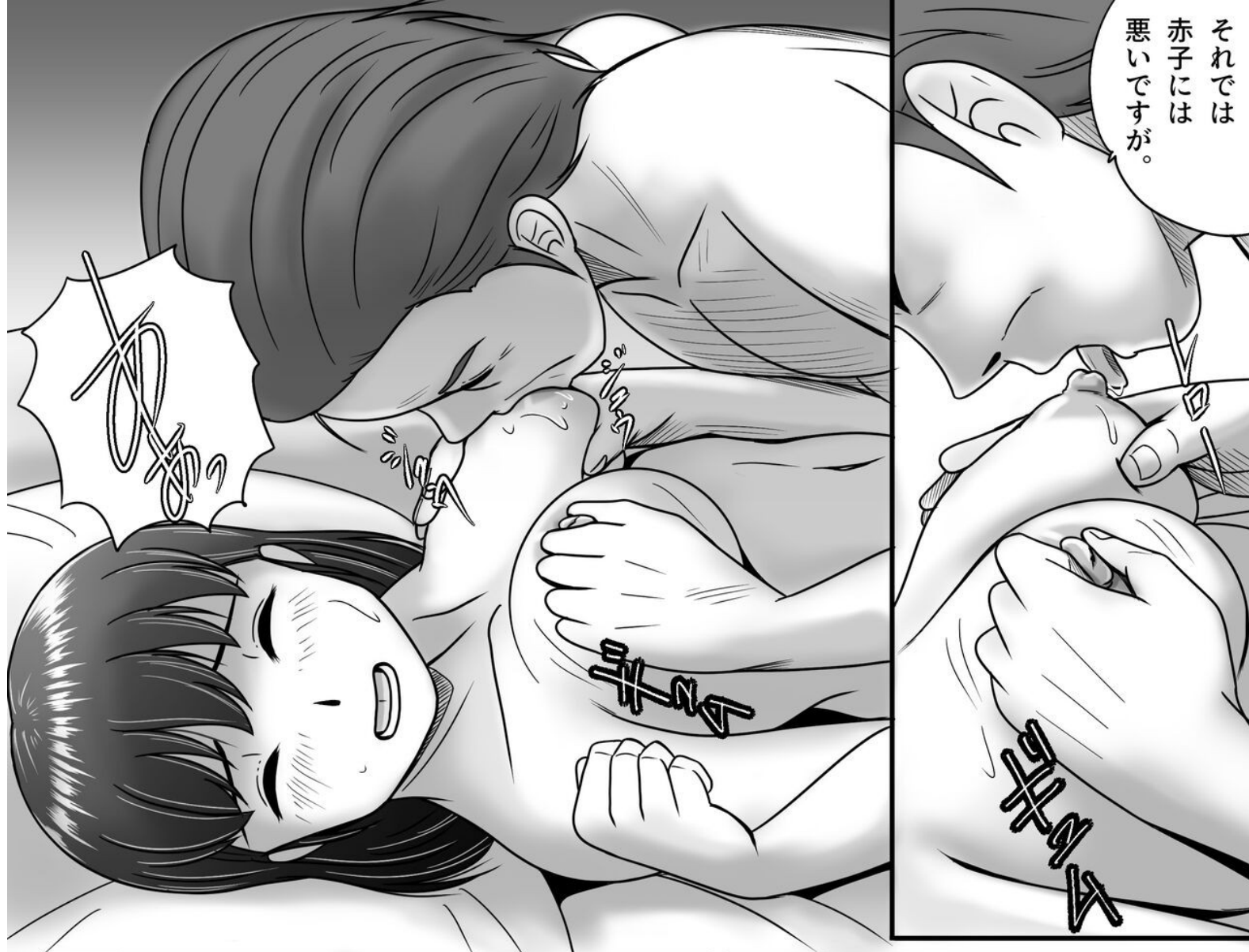
それでは
少々
堪能させて
頂きます。

あ、
あの…





それでは
赤子には
悪いですが。



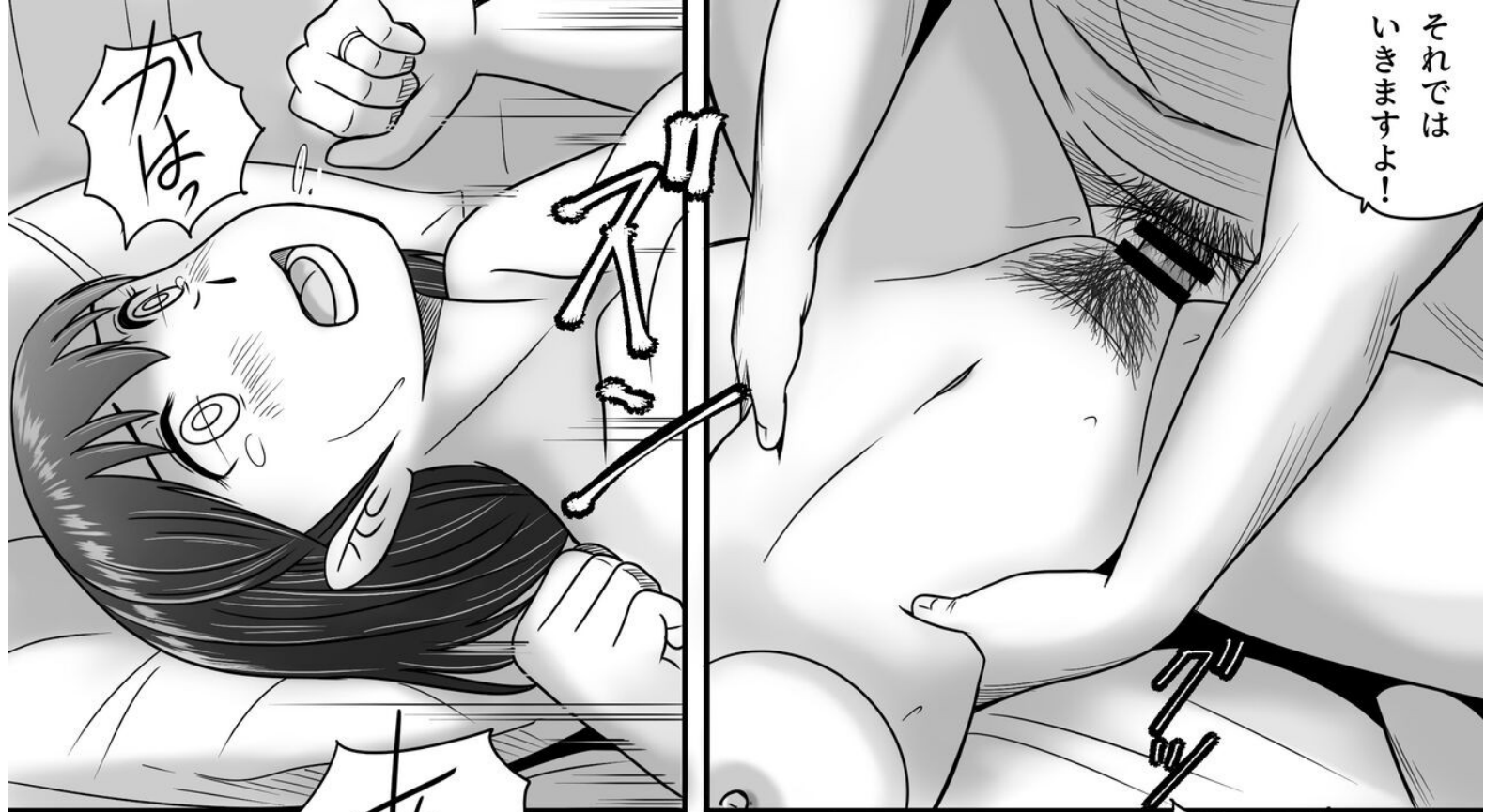
み、
峯原さん。

どうです？
だいぶ馴染ん
できましたか？

そろそろ
動いても
良いようです
ね。



それでは
いきますよ！





どうでしょう?
繭子さん!

気持ち
いいですか?

何これ!
凄い!

繭子さんの
中も
なかなかですよ。

んん

んん

繭子さん、
この体勢ならば
より深く入ります。

それだけ
子種が子宮に
届きやすく
なります。

良いですね。
一気に
いきますよ。

は、はい…

いかがですか？
この体勢は？

気持ちも
良いでしょう？



繭子さん
締め方
凄いですね！

そろそろ
いきますよ！

しっかり
子種を
受け取ってください！



ああ！
凄い！
なんか大きいの
来る！

ああ！
何これ！
何これ！







お腹が
熱い…



峯原さんのが
中に…



いやあ
繭子さんの具合が
良いもので

年甲斐もなく
頑張って
しまいました。

確率を上げるために
しばらく
このままでいましょう。

良いですね、
繭子さん。

は、
はい…

信人さん…終わりました。

それでは
お先に
失礼します。



この
払いは終わっています。

繭子さんは
しばらくここで
休んでいただいて
結構です。



では、
また何かありましたら
何なりと。



...



これできっと
上手くいくよね...

信人さんと
ずっと
一緒に...



ああ、社長。

無事
終わりましたよ。

でも社長、
私で
よろしいのですか？

私は、
だいぶ前から
種無しなんですよ。

HOT
Cuckoo's

馬鹿者！
誰がお前なんかの血を
我が一族に
入れたいものか！

要は、
あの男を追い出せれば
良いのだ。

繭子の本当の相手は
わしが決める。

そのために
お前は、働けば良いのだ。

はあ

次は、繭子の家に行け！
その後の手筈はわしが整える。

はい。

それでは頼んだぞ！

まったく
酷い親だ…

それでは
私も好きにさせて
頂きます…





繭子さん…

あーん
あーん

あーん

あーん
あーん
あーん

もっと
突いて下さい！

信人さん！

信人さん！

あーん
あーん

あーん
あーん
あーん





あれ…



何だかあんまり
気持ちよく
無かったな…

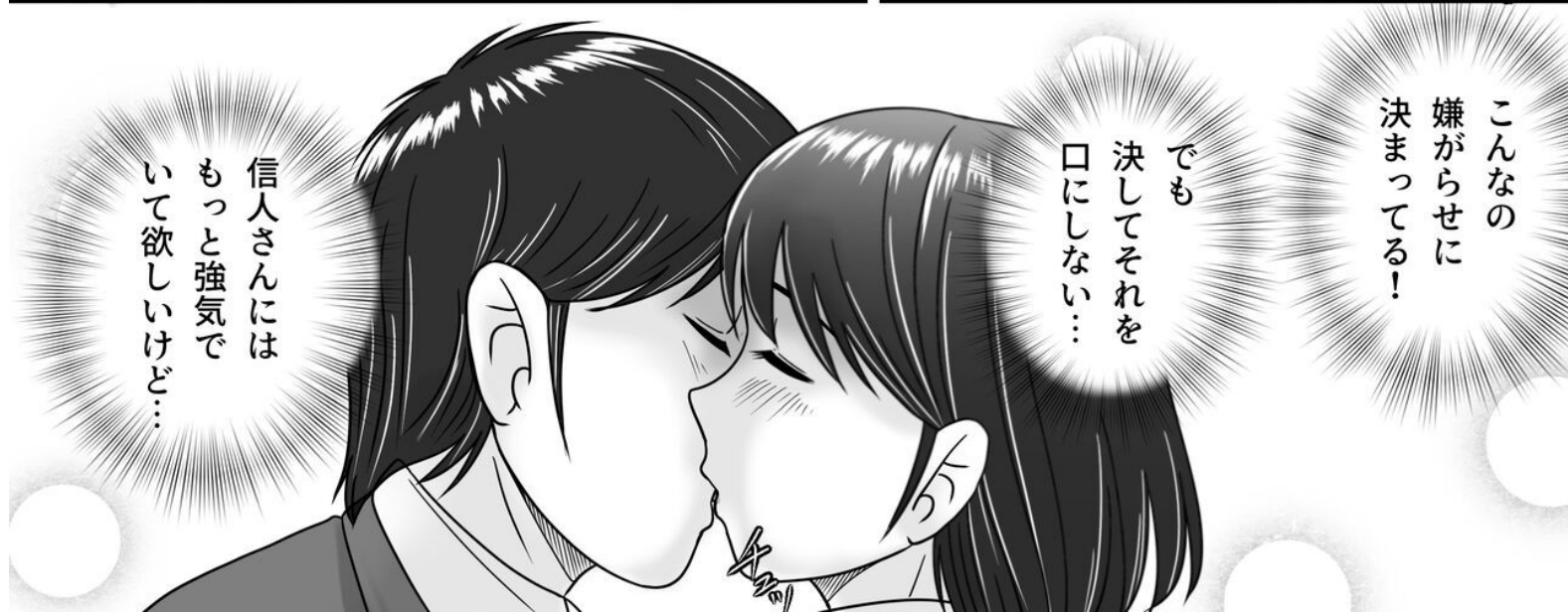
峯原さんと
してから
なんか物足りない

セックスって
こんなだっけ…



急に
出張だなんて…

繭子さん
ごめん！





えっ！
お父さん！

ダメだったって
どうして
知ってるの？

峯原さんが
家に！

そんな…
どうしよう…

お父さん

ダメだったそうだな。

まあ、一回では流石の峯原で
も難しい様だ。

今日、峯原をそっちにいかせ
る。

今度はそ、しっかり争むのだ
ぞ！

いやあ、
それにしても

立派な
マンションに
お住まいだ。

まったく
羨ましい
ですな。

しかし
我が社の
安月給で

こんな
良い所に住めるなんて
旦那様は
随分と頑張っておられる。

ここは
父の
物件ですので…

なるほど。
そういう
わけですか。

では旦那様も
こんな良い暮らし
手放したくは
ないですね。

そ、そう。
信人さんの会社の立場
そして
この暮らしを
守るためにも、

私が
頑張らなきゃ！

しかし
残念でした。

まさか
ダメだとは…
本当に
申し訳ありません

繭子さんも
緊張なさっていたとはいえ
私もすっかり
衰えたつてところでしょうか…

峯原さんの
せいでは
ありません。

きっと
私が…

今日は
精力剤なども飲んで
参りました。

確率を上げるためには
やはり
何回か仕込んだ方が
良いですね。

それに
ご自宅なら

繭子さんも
リラックスできる
でしょうし。

それでは
早速ですが…

裸になって
いただけますか？

裸って！

ここで
ですか？

ホテルでは暗くて
繭子さんの綺麗な体を
十分に堪能
できませんでした。

その結果、

刺激が足りず

繭子さんにも色々

お手間をおかけしました。

では
せめて
寝室の方で…

そちらも
後ほど
お邪魔します。

まずは
私を元気づけるために
お願いできますか？

で、
でも…

こんな
明るい所で…

どうしよう…
こんな明るい所で
裸って…

いやあ
なるほど！

本当に
繭子さんは
美しい…

明るい所では
なお
お美しさが
映えますな。

モフッ

出来れば
もう少し
よく見たいので

手を
どかして
頂けませんか？

ほう…



まったく
繭子さんは、
清楚な見た目と違い

いやらしい…
いや
失礼!



肉感的で
魅力的な
お体をしてられる



それに
肌もシルク
の様だ…







すみません。
私は
女性の
乳首が好きで



つい
夢中
になってしまいます。



み、
峯原さん！

！

グッ

あ、あの…

そういうのは…

これは失礼！
そうですよね。

唇は
旦那様の
モノですよ。

では私も
失礼して
服を脱ぎます。

繭子さんは
ソファに
どうぞ。



ひよっとしたら
準備の必要は
無いかもしれませんが

それでは
こちらの準備も
いたしましょう。







繭子さん、
いかがでしたかな

トロッ

随分と
派手に
達した様ですが。

こ、こんなのは
初めて
ですので…

そうですか！

私を見て下さい。

はあ

はあ

もう
こんなですよ。

！
触って
みますか？

峯原さんの
ペニス…

やっぱり
凄い…



この前より
大きくて
硬い気が…



いつもより
元気なようです。



この前みたいに
しゃぶって
みますか？



飲んだ
精力剤のおかげ
ですか？





相変わらず
お上手だ。



繭子さん
そろそろ
入れましようか？

一度くらいは
お口に出したい
ところですが…

はい…

また
峯原さんのを
…



そのまま
腰をゆっくり
下ろして下さい。

そうそう、
そのまま
ですよ。





ん
ん

うっ
うっ
うっ

あぁ

あ

あぁ

うっ
うっ
うっ

繭子さん、

今度は
すんなり
入りましたね。

だいぶ
私のイチモツに
馴染んだようです。

やっ
やっぱり
峯原さんの凄い！

お腹が
押される！



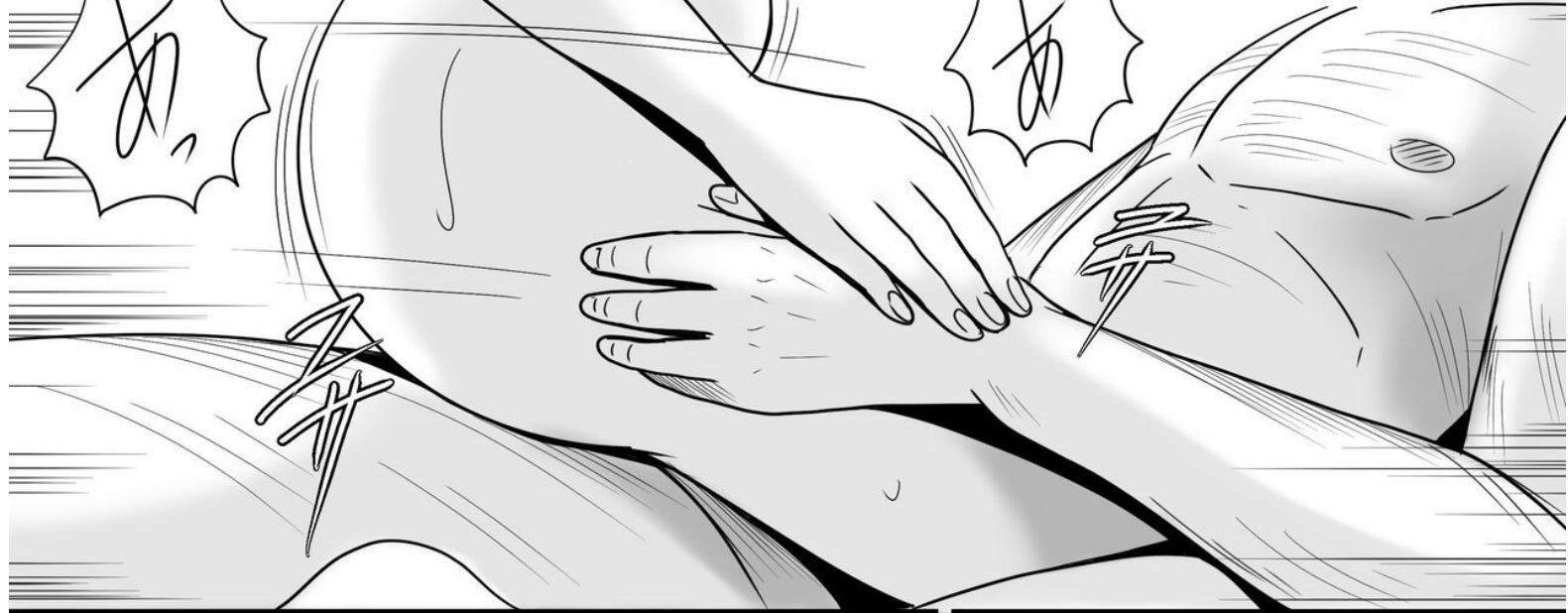
繭子さん
ご自分で
動いてみますか？

えっ！

繭子さんが
気持ちいい様に
動いて下さって
結構ですよ。

わ、私が
ですか…







どれ…
私も下から
お手伝い
しましょう。

だ、だめ！
いきそう！

いかが
ですか？

あ
あ

ん
ん

ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん
ん





どうですか
繭子さん。

えわ

えわ



私のイチモツなら
旦那様より
ずっと奥まで
たどりつきます。

今回こそ
上手く
いきますよ。



それでは
参ります。



んっ!



ほら
繭子さん
ご覧なさい。

私のイチモツを
貴方のがしっかり
啜え込んでますよ。

ッ

す
凄い…!

あんな
大きいのが
私の中に…

しゅ
ぐわ

あんな 大きいのが
私の中に...



み
峯原さん！

あ、

あ、

き
気持ちいいです！
気持ちいいです！

繭子さん
私も気持ち
良いですよ！

あ、
ためえ



峯原さん！
峯原さん！

私、
またいきます！
またいきます！

あ

あ

私も
いきますよ！
良いですか？

しっかり
お受け取り
下さい！

あ

あ





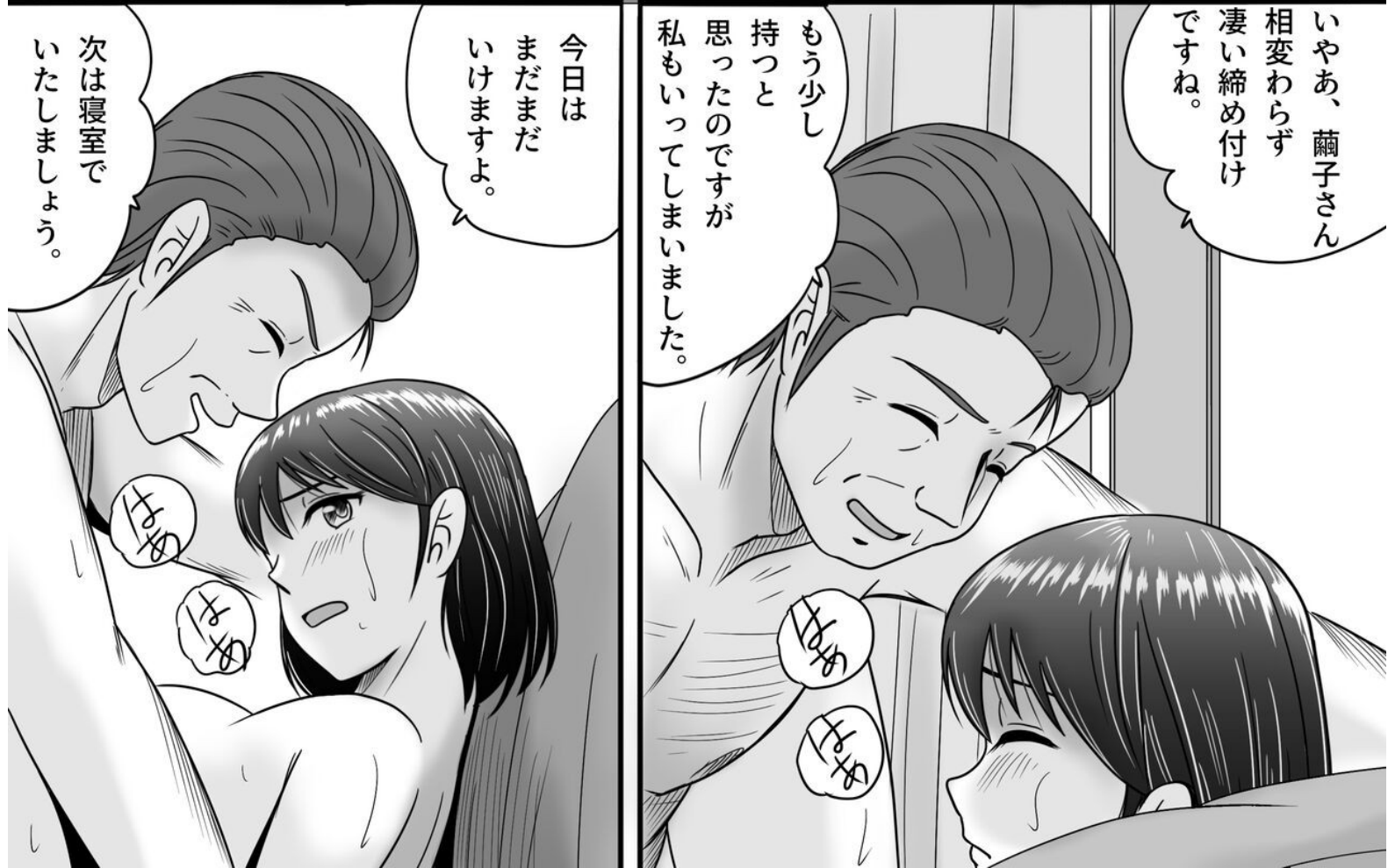


いやあ、繭子さん
相変わらず
凄い締め付け
ですね。

もう少し
持つと
思ったのですが
私もいつてしまいました。

今日は
まだまだ
いけますよ。

次は寝室で
いたしましょう。



仕込みが
出ないように
繋がったまま
参りましょう。

ちょ
ちよっと！

しっかり
おつかまり
下さい。

えん

ひゃっ！

み、
峯原さん！

ひゃっ

繭子さん、
こういう体位は
駅弁スタイルと
言うそうですよ。

え、駅弁？
ですか…

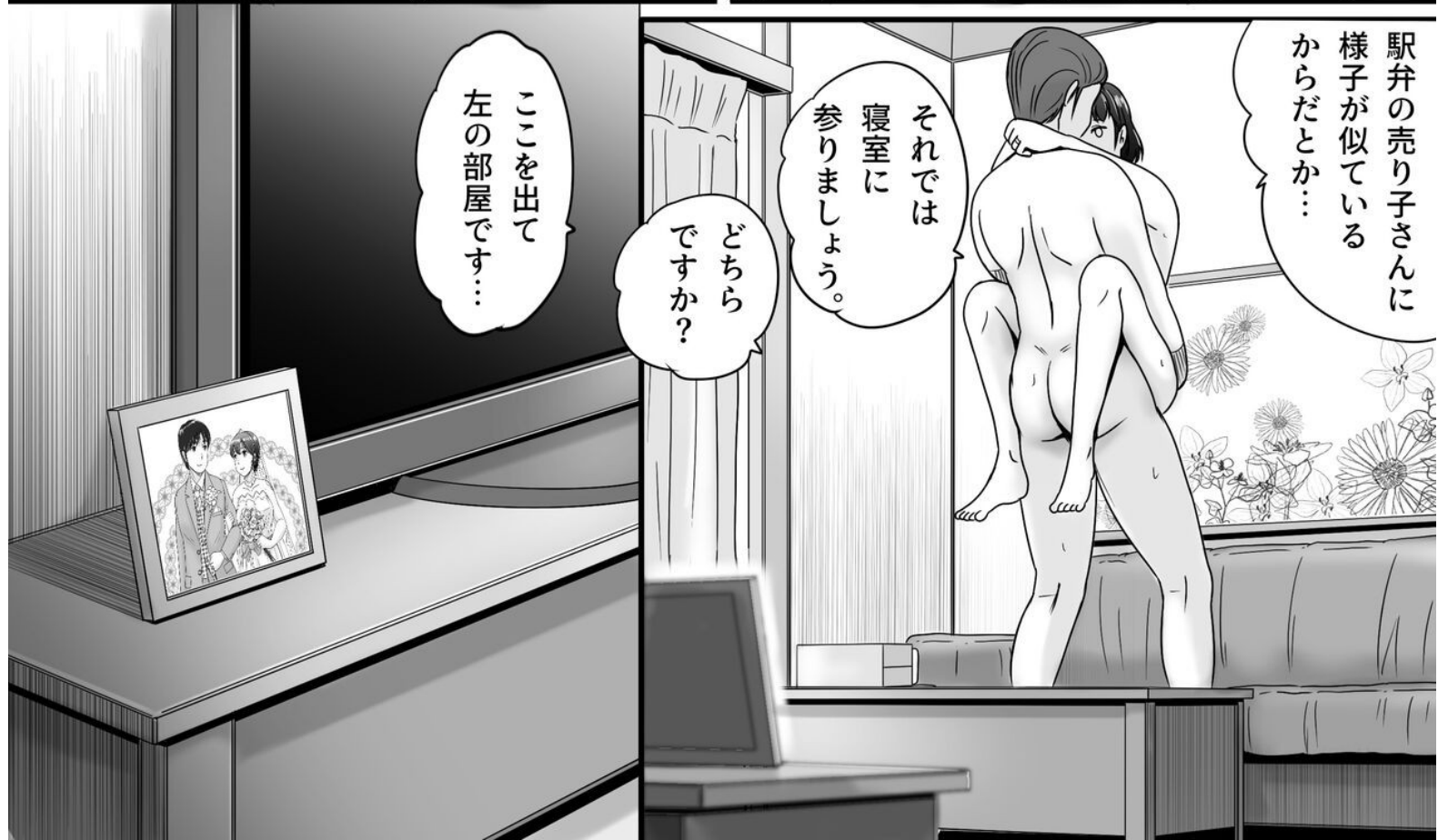


駅弁の売り子さんに
様子が似ている
からだとか…

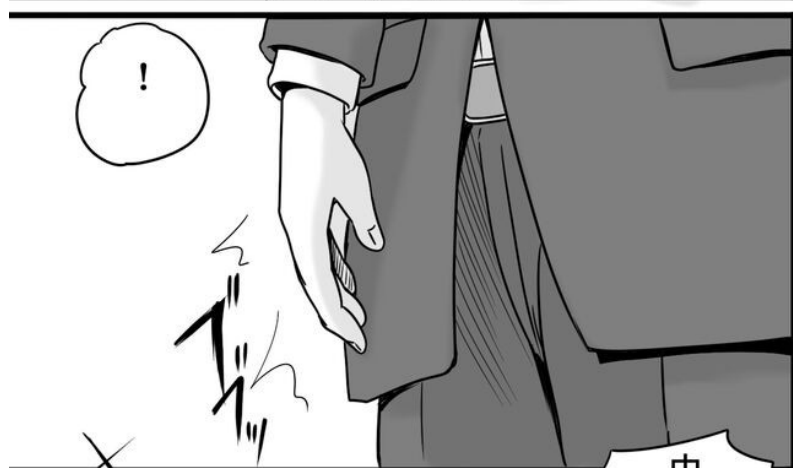
それでは
寝室に
参りましょう。

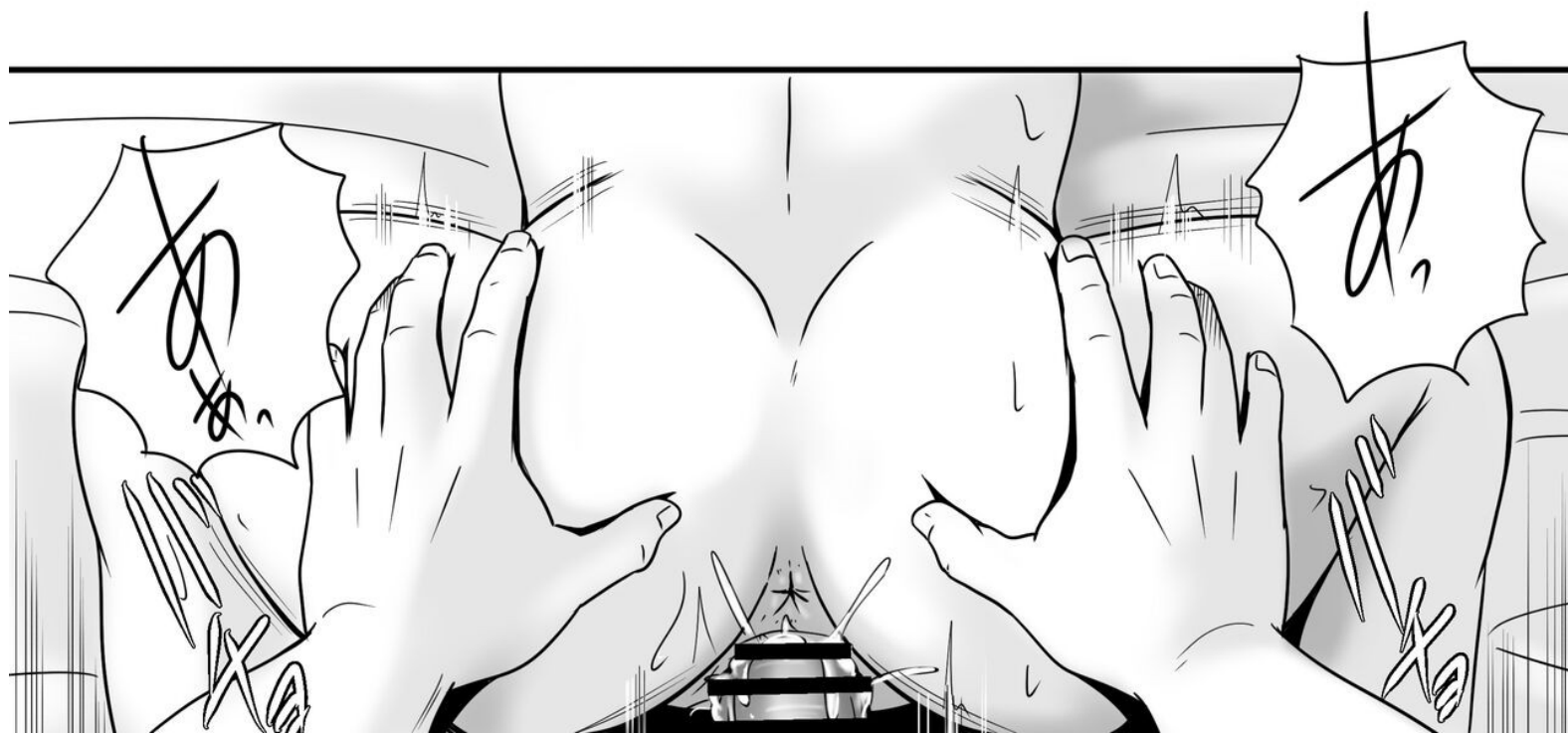
どちら
ですか？

ここを出て
左の部屋です…



16 東京	21	ひかり234	12:17	新大阪	23
23 東京	21	のぞみ17	12:21	博多	24
46 東京	21	こだま19	12:30	名古屋	23











わん
あ

み
峯原さん！

あ
あゝ

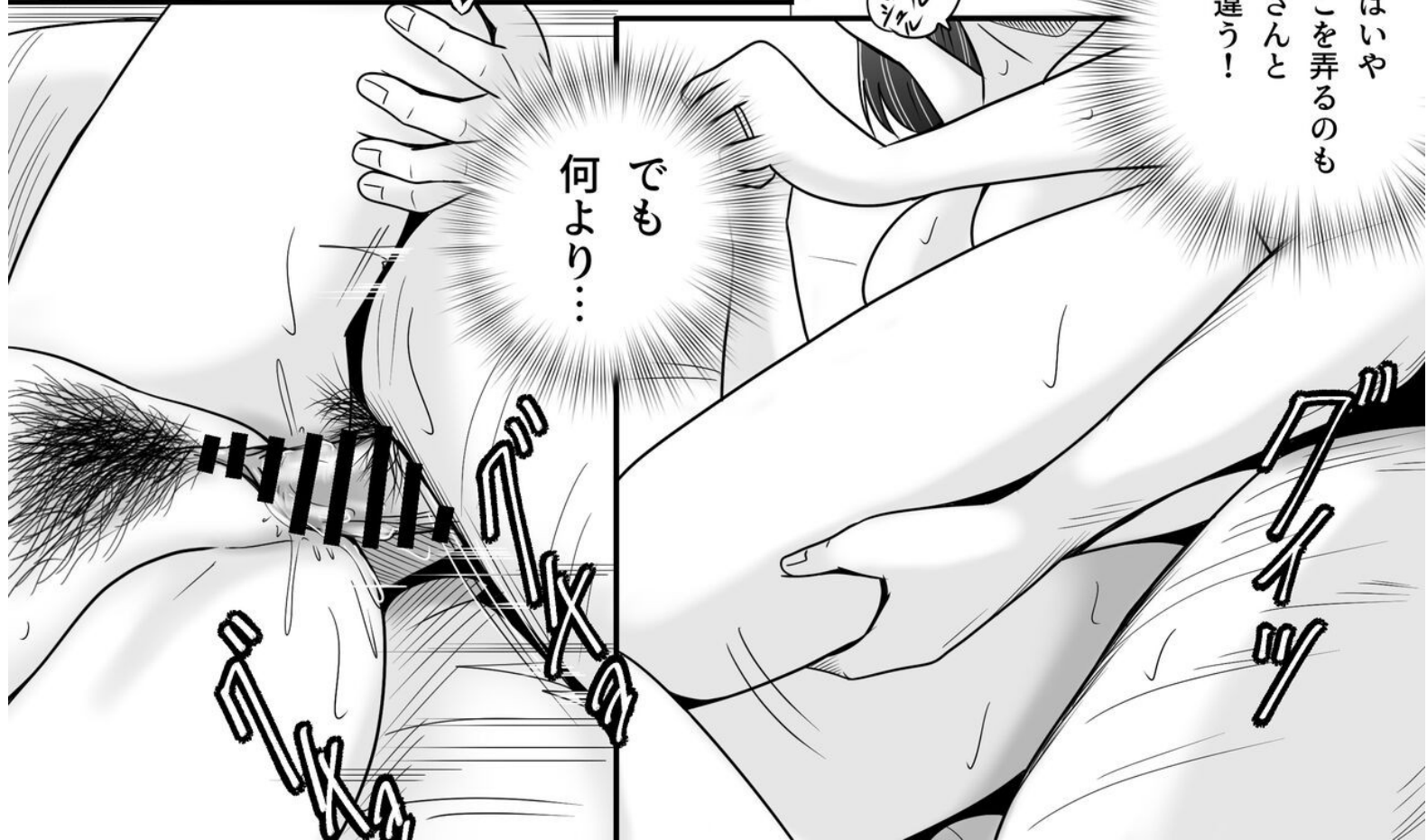
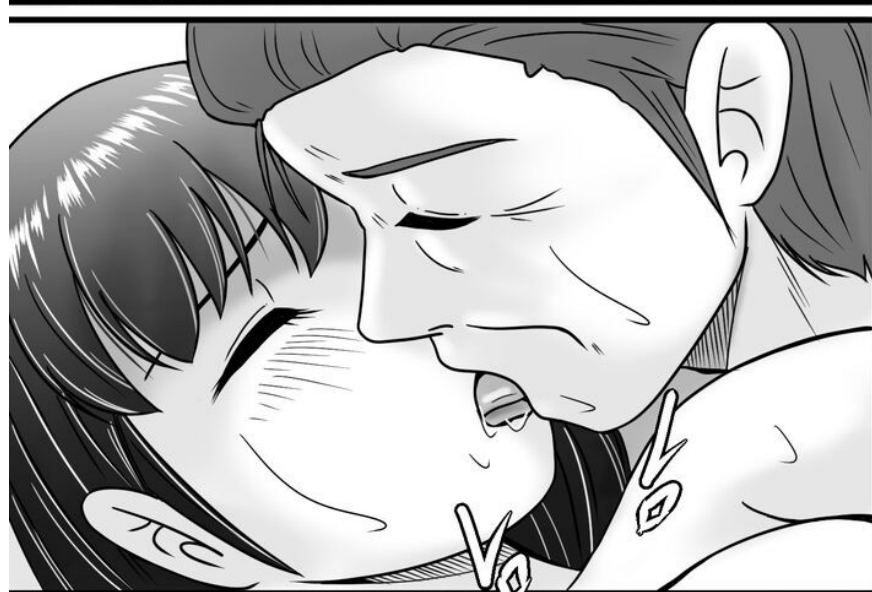
激しい
です！

ひえ
あゝ



峯原さんとの
セックス:

信人さんと
全然違う!



峯原さんの
ペニス！

気持ちいい！

気持ちいい！





だから
もっと欲しい!



次は
どうして
欲しいですか?

繭子さん
また
いってしまいましたね



っ
次は...



フン

峯原さんの
精子…

いっぱい
下さい…



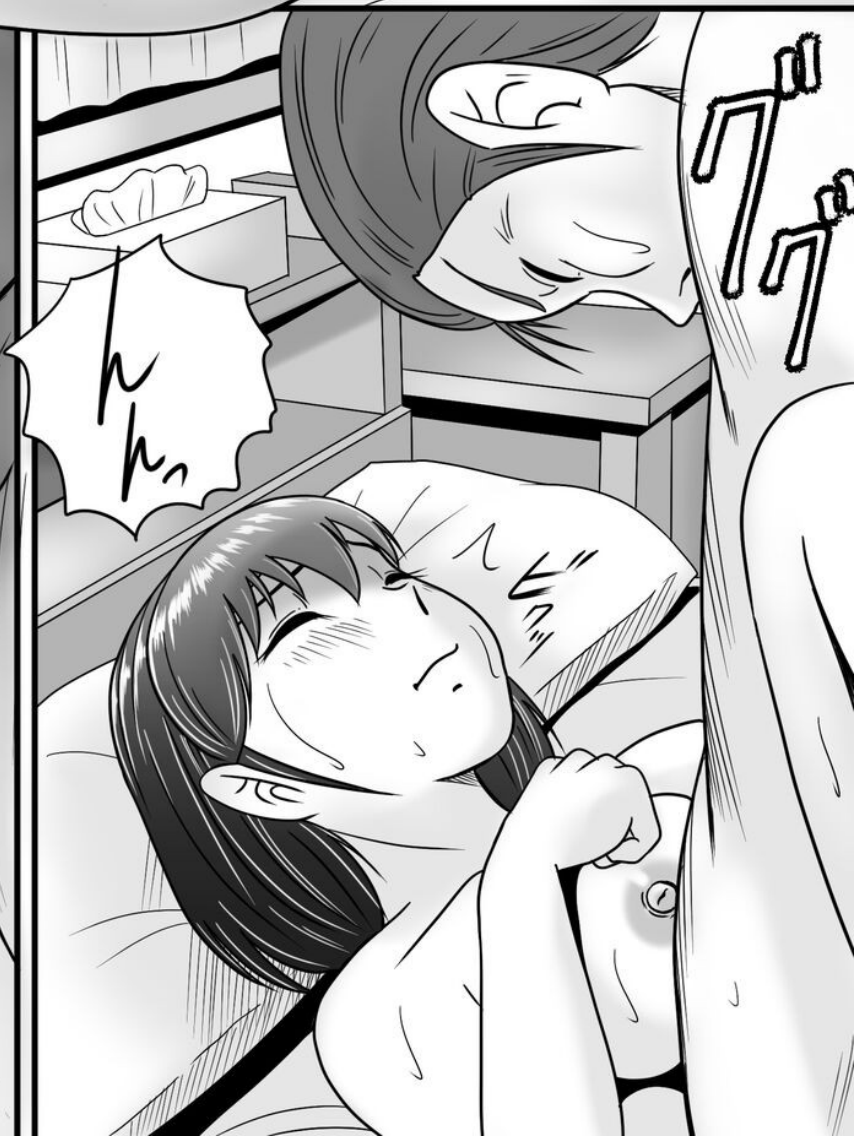
それでは
存分に…

繭子さんの
子宮に
流し込ませて
頂きます。



では
気合を入れて
いききたいと思います。

良いですね、
繭子さん！



どうですか？
繭子さん。

旦那様よりも
気持ちいいのでは？

もう私のイチモツに
夢中じゃないですか？
旦那様には悪いですが、

繭子さんのあそこ
すっかり私のイチモツで
上書き
してしまいましたね。

峯原さんの
気持ちいいです！
凄いです！



最近

信人さんとの
セックス
よく無かった…

あ！
乳首ダメっ！

あれは
気のせいじゃ
無かった…

私のカラダ
変わっちゃった！

私、峯原さんに
変えられ
ちゃったんだ！

さあ繭子さん

一緒に

気持ちよく

なりましょう。

はい、
峯原さん…

私、セックスが
こんなに
気持ちいいなんて
知らなかった！

セックスは
子作りにため！
そう思ってた！

でも違った！
峯原さんとの
セックスは
それだけじゃない！

繭子さん、
そろそろ
いきますよ！

だから…

は、はい！
お願いします！

峯原さんの
精子
いっぱい下さい！

私、孕みます！
私、峯原さんの子

孕みますから！

んん

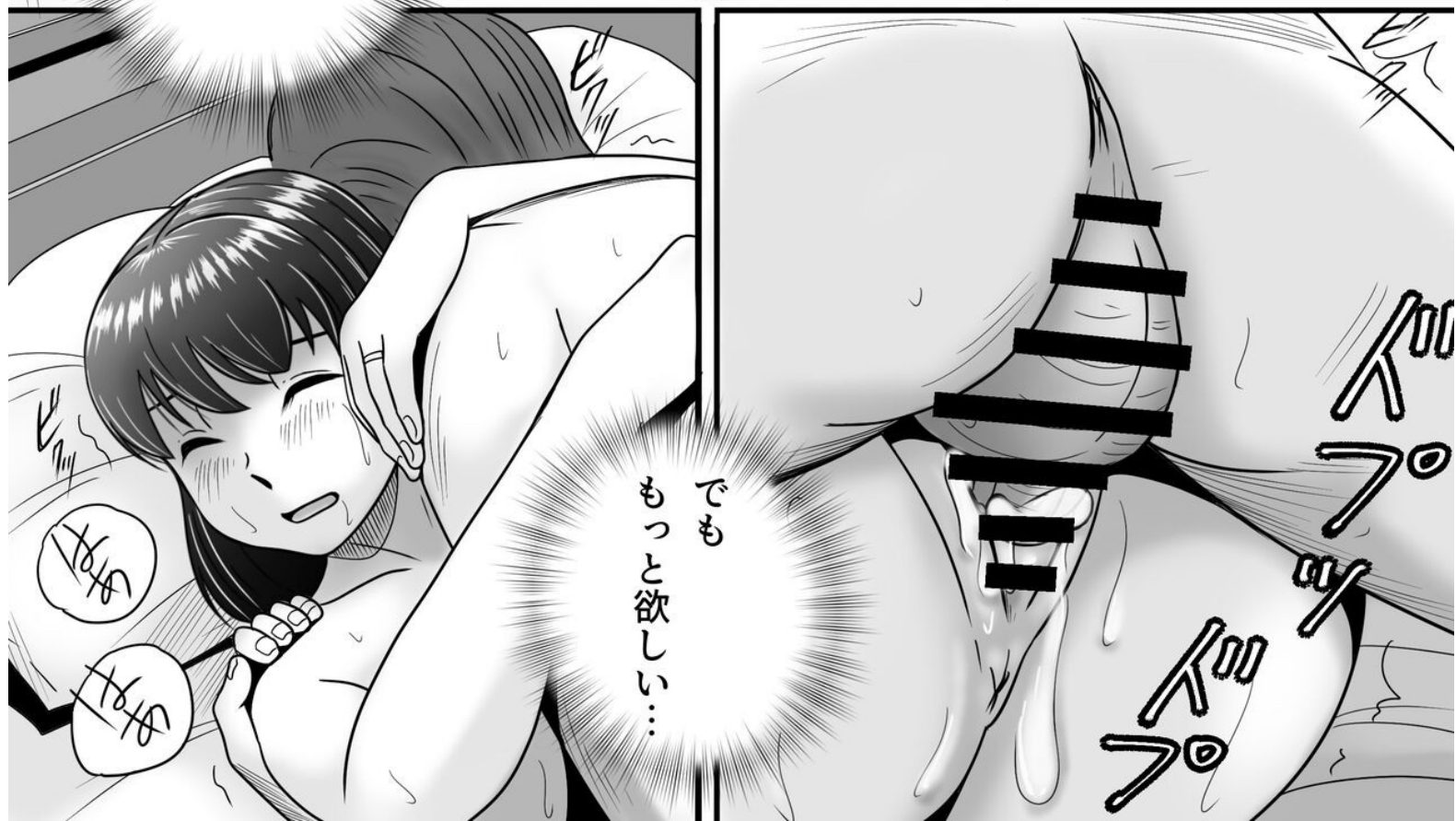
あ

あ





峯原さんの
精子！
私の中に
いっぱい！



でも
もっと欲しい…



繭子さん
ただいま！

あれ！
お義父さん
来てるのか？

モンブラン
三つ買えば
よかったな…



繭子さん
寝室に居るの？
調子悪いのかな？

繭子さん…

大丈夫？



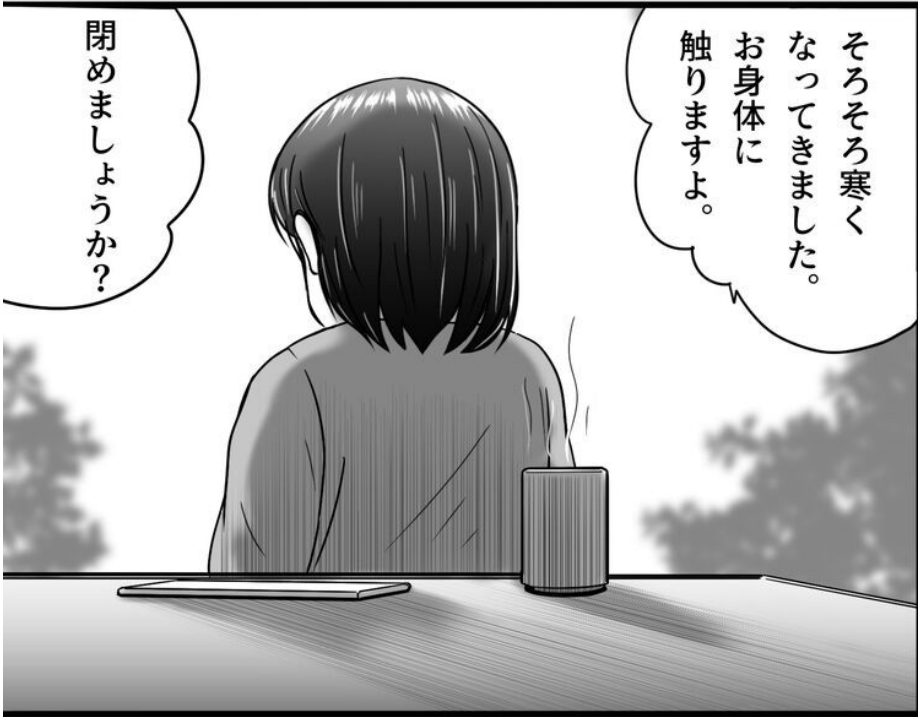


一体
これは…



繭子さん…

半年後…郷田家



閉めましょうか？

そろそろ寒く
なってきました。
お身体に
触りますよ。



繭子様
お茶を
淹れました。

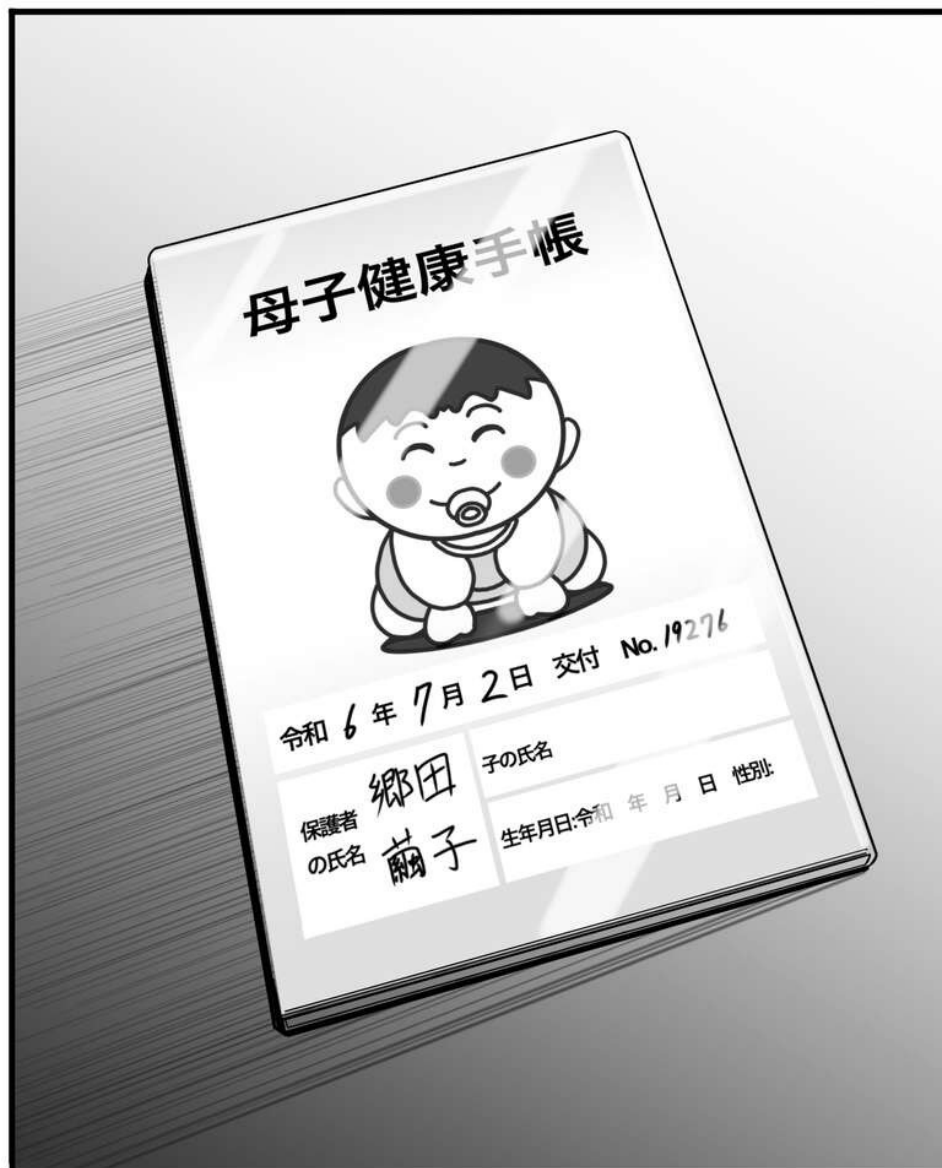


でも
もう少し…

うん、
ありがとう。

いんまじゅ...





おしまい

お買い上げ頂きましてありがとうございます。どうもございました。

